

令和6年10月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和6年10月31日（木）10時00分～12時00分			
開 催 場 所	半田市役所 庁議室			
出 席 委 員	教 育 長 委 員 委 員	榊 原 雅 晃 新 美 大 桂 優 子	委 員 委 員 委 員	堀 崎 隆 資 久 米 宏 和 正 村 日 登 美
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 主 任 指 導 主 事 給 食 セ ン タ ー 所 長 ス ポ ー ツ 課 長 図 書 館 長 新 美 南 吉 記 念 館 長	森 田 知 幸 木 下 稔 章 榊 原 秀 夫 加 藤 計 志 藤 井 寿 芳 遠 山 光 嗣	学 校 教 育 課 長 指 導 主 事 生 涯 学 習 課 長 ス ポ ー ツ 課 主 幹 博 物 館 長	内 藤 誠 高 下 隆 史 青 木 美 希 河 合 信 二 関 正 樹
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 主 査 羽 根 広			
報 告 事 項	■議案 (1) 学校給食費の改定について ■報告事項 (1) 3か年実施計画事業（令和7～9年度）について (2) 寄附、後援願等について (3) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について (4) はんだシティマラソン 2024 のエントリー数について (5) 各種事業について ①畳でコンサート ②まちなかでアート「HANDA STREET TERRACE」関連イベント ③ロビーコンサート（半田少年少女合唱団共催事業） ④ロビーコンサート（半田市医師会健康管理センター共催事業） ⑤半田市民管弦楽団 第38回定期演奏会（ピアニスト 沢田 蒼梧 氏との共演） ⑥令和7年半田市二十歳の集い ⑦ミニテニス教室の開催 ⑧亀崎図書館「としょかんまつり」 ⑨亀崎図書館「あま〜いお話とクラフトボックス作り」 ⑩「やさしい古文書講座」 ⑪博物館講座「てんこく」 ⑫「旧中埜家住宅体験型写真館」			

	⑬「移動美術館 2024 本当の本物の現実」 ⑭企画展「新美南吉記念館開館30年の歩み」 ⑮ガリ版体験 ⑯童話の森の文化祭
各課事務連絡	

＜議事録＞

1. 前会の会議録の承認	(事務局) 9月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) 9月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 10月1日に市長から教育長の辞令交付を受け、正式に任命された。 8日、全員協議会で市議会議員にあいさつした。内容としては、前教育長の方針を引き継いで幼稚園を含む学校教育、生涯学習、文化・スポーツ等の取組を進めていくこととし、子どもたちが通いたくなる学校、保護者や地域にとって通わせたい学校、教職員にとって勤めたい学校を目指すことを決めた。この内容は、教育委員、関係職員に共有し、校務用ネットワークで校長を始め全教職員にも共有した。 3日から28日にかけて順番に全学校の校長と面談を実施した。次年度に向けて人事異動の要望聞き取りなど。12月以降に知多教育事務所との面談も控えている。学級編制については、児童生徒数は減少傾向だが、特別支援学級が増加傾向にある。 4日以降、花園、宮池、有脇の3小学校の学校訪問があった。規模や雰囲気の違いはあったが、どの学校においても教職員が子どもたちと真摯に向き合う姿や研究協議に積極的に参加する姿、元気な子どもたち、タブレットを活用した授業などを目にするのができてよかった。学校訪問については、多忙化解消や負担軽減のために簡素化してはどうかとの声もあるが、平日からの現職教育が義務教育を支えている面もあると思うので、大切な取組として続けていきたい。 30日、長久手市で開催された尾張部都市教育長協議会に出席した。県立高校附属中学の開校に向けての議題があったが、課題が多いことを改めて感じた。例えば、就学援助について、誰がどのように負担するのか。この他にも、今後、想定されていない課題が出てくると思う。市内に開校するので、注目していかなければいけない。
3. 議題 ■議案 1) 学校給食費の改定について	(給食センター所長) 学校給食の食材購入費は、学校給食法に基づき、保護者の方に給食費としてご負担をいただいている。 現行、1食あたりの給食費を、小学校が250円、中学校が290円と設定しているが、昨今の物価高騰の影響により、現行の給食費では賄うことが困難な状況が続いている。 このため、かねてより給食費の改定について検討をしていたが、給食費については、「半田市学校給食費 事務取扱規則 第4条」において、半田市学校給食運営協議会の意見を聞いて、教育委員会が定めることと規定されている。 そこで、去る10月3日に、半田市学校給食運営協議会へ諮問した結果、当会から半田市教育委員会に対し次のとおり答申書が提出された。 1. 学校給食費は値上げをすることが適当である。 2. 金額（日額）については、小学校が50円値上げの300円、中学

	校が60円値上げの350円とすることが適当である。 3. 改定の時期は令和7年4月1日とすることが適当である。 この運営協議会のご意見のとおり、学校給食費の改定について実施することの決定を本会にお願いするものである。 なお、値上げ分の金額は、令和7年度については物価高騰に対応するための臨時的な子育て支援策との名目で、保護者に負担を求めず、公費で賄いたいと考えている。 (正村委員) 令和7年度は公費で賄いたいとのことだが、令和8年度以降はどうしていくのか。 (給食センター所長) 段階的に受益者負担として保護者にも負担を求めたいと考えているが、現時点では未定である。 令和7年度についても、最終的には令和7年3月の定例議会で諮られることであり、まだ確定ではない。 (教育長) 他に意見がないようなので、提案のとおりとしてよろしいか。 (教育委員) 異議なし。 (教育長) では、異議なしとして、提案のとおりとする。
■報告事項 1) 3か年実施計画事業(令和7～9年度)	(学校教育課長) 令和7～9年度までを対象とする3か年実施計画について内示があったので、教育委員会に属するものについて説明する。なお、公表は11月12日の予定であり、それまでの間、取扱いにご注意いただきたい。 まず、学校教育課の事業のうち、主なものについて説明する。 「幼稚園防犯カメラ整備事業」は、小・中学校への防犯カメラ設置を令和6・7年度の2か年で整備することに併せ、令和7年単年で幼稚園にも設置を行うもの。 「亀崎小学校改築等事業」は、現在進行中の事業で、令和7年度に新校舎が完成・引っ越し、令和8年度に旧校舎の解体と新体育館の実施設計等を進めるもの。 「乙川東小学校更新事業」は、今年度スタートした事業で、令和7・8年度に基本設計と実施設計を行い、令和9年度から新校舎建設等に着手予定のもの。 「小学校及び中学校体育館空調機器設置事業」は、既に空調機器設置済みの学校等を除く市内全校の体育館に、空調機器を設置するもの。

「共に学ぶ教育環境整備事業」は、医療的ケア児のいる学校へ看護師及び介助員を派遣等するもので、令和7年度は板山小学校への多目的トイレ設置費用も計上している。

「外国籍等児童生徒支援事業」は、従来の日本語初期指導教室の開催等経費に、別途計上していた外国人生活支援員の配置経費など、外国籍等児童生徒への支援関連経費を統合して一括計上することとしたもの。

「中学校野外活動推進事業」は、例年、3か年事業には位置付けていなかったところ、令和7年度に大きな金額変動があるため、この年度に限り3か年事業に位置付けるもので、変動理由は、令和7年度、中学1年及び2年の2学年を対象に野外活動を行うというもの。これは、従来、1年生を対象に野外活動を行っていたところ、令和2年度、新型コロナウイルスの影響により、当時の1年生の実施を取り止め、翌年度実施に切り替え、以後、毎年2年生を対象にしてきたものを元に戻すための措置である。2年生は、キャリア教育の職業体験など行事が多いことから、従来どおり1年生を対象としたいとするもの。なお、小学校は、令和2年度も実施時期及び行先を変更して実施しているため、今回の対応は中学校のみということになる。

また、「(仮称)成岩こども園建設事業」については、成岩幼稚園と協和保育園を統合して令和9年度に開園予定のもので、幼児保育課所管の事業を参考として掲載しているもの。

(給食センター所長)

「新学校給食センター建設事業」については、令和7年度に旧学校給食センターの取り壊しを行うための費用を計上している。

「県立中学校給食配送委託事業」については、令和7年度から、半田高校附属中学校への給食提供を開始するので、それに伴い、現在、民間委託している配送業務において、配送車を1台追加するための費用を計上している。

附属中学校への給食開始には、食器やコンテナの購入費や、調理員の人件費など、他にも必要な経費がかかるが、かかった経費は全て、愛知県に負担してもらうこととなっている。

「市立幼稚園給食提供事業」については、令和7年度から公立幼稚園5園に対して実施する幼稚園給食に係る費用を計上している。具体的には、各幼稚園への配送委託料、食材料費を計上している。

(生涯学習課長)

「成岩公民館解体等事業」は、成岩小学校敷地内に地域住民の交流施設を建設することに伴い、現公民館を解体するもの。令和8年度に不要な備品を廃棄処分し、令和9年度に公民館を解体する。

地域交流施設は、令和7年度から建設し、令和8年9月頃に供用開始の予定。なお、地域交流施設建設工事等に係る予算は、昨年度まで生涯学習課が所管していたが、今年の3か年実施計画から市民協働課へ予算を移管した。

「地区公民館等設備適正化事業」は、岩滑公民館を除く13館にパソ

コンを1台ずつ配備するもの。

市の公共施設である地区公民館において必要となる備品は市が配備すべきものだが、これまで市が統一的にパソコンを配備しておらず、公民館が独自で購入したり、区からご寄付していただいたものであったり、館長の私物を使用している場合もあった。

Windows のサポートが終了したものや、ウイルス対策ソフトの期限が切れたパソコンを使用している館もあり、セキュリティ上の問題が生じているので、この機会にパソコンを配布するものになる。

「こどもの居場所文化スポーツ事業」は、放課後にアートやスポーツに触れる機会を小学校の中で提供し、こどもが日中過ごす学校の中で、普段の授業では学ぶことができない体験をすることにより、自分の好き、やってみたいことを見つけられるよう後押しする事業を生涯学習課とスポーツ課で展開していくもの。

具体的には、生涯学習課では、タブレットを使ってデジタルアートやプログラミングの体験講座を開催する。スポーツ課は、名古屋オーシャンズの選手によるフットサル体験を開催する。小学校3年生から6年生を対象に1講座あたり20名程度、1回あたり1.5時間の体験を行う。2学期から3学期にかけて開催する。

令和7年度は、試行的に実施するため小学校4校を選抜して開催する予定である。

「音楽のあるまちづくり事業」は、セントラル愛知交響楽団との協定に基づく事業を実施するほか、今年から始めて大盛況であった音楽マルシェを拡充して開催する。

また、令和7年度からはセントラルとの協定事業の中の一つ、セントラルによる街中巡回公演を新たに開催する。

音楽を市民の方にもっと身近に感じてもらえるよう、市内公共施設の4会場、具体的には上池公民館、岩滑公民館、神戸公民館、空の科学館でコンサートを開催し、音楽のあるまちづくりをより推進していく。

（スポーツ課）

「地域スポーツ文化芸術活動支援事業」は、今年度から中学生の部活動改革に伴い始めたもので、中学生が土日祝日も継続して活動実施できるよう環境を構築することを目的に、中学生の受け入れ先となる団体の体制整備等に関する費用に対し、補助金として交付するもの。令和6年度から令和8年度までの3年で実施をするものである。この中には文化芸術活動の皆さんも含まれている。

「新総合体育館建設事業」は、今年度から始まっているもので、今年度、基本構想を策定する。来年度は基本計画を策定するが、その中でPFIの導入可能性調査等も行うことになり、その結果をもって、令和8年度以降の事業を展開していくもの。

「運動公園計画的改修事業」は、老朽化した半田運動公園の設備を改修するもので、主な内容は、受変電設備、いわゆるキュービクルの更新となる。

「半田福祉ふれあいプール計画的改修事業」は、ふれあいプールの施

設・設備ともに劣化をしているため、令和7年度に各ろ過機など、冷却塔の大改修工事、大規模改修工事を行う予定である。

令和8年度はポンプユニット等の取り替え、令和9年度以降は大規模改修の事業計画案を作成する予定である。

「どこでもスポーツ推進事業」は、今年度、市役所のすぐ前のごん吉くん広場でバスケットボールの3×3の大会を開催したが、来年度以降も様々なスポーツの場を提供し、どこでもスポーツができる、スポーツに親しんでいただくということでこの事業を取り入れていく。

令和7年度はプロギングと言い、ゴミ拾いと、ランニングを掛け合わせたものを予定している。令和8年度はスラックラインというもので、いわゆる綱渡りを低く、短くして誰でも楽しめるようなスポーツを実施する。令和9年度は、改めて3×3の大会を、乙川のパワードームさんの天井が高い部分でやりたいと考えている。

（図書館）

「図書館運営基本計画策定事業」は、社会や市民ニーズの多様化に対応した図書館事業サービスの更なる充実を図るため、中長期的な視点で今後の図書館のあり方を検討し、市の教育文化施設としてのあるべき姿、方向、市民サービスの提供の指針を、図書館として初めて定める計画になる。

（博物館）

「企画展開催事業」は、令和7年度は、企画展として「終戦80年記念展」を開催する。半田市は、昭和20年7月に2度の空襲を受けており、中島飛行機半田製作所はじめ市内で大きな被害を受けた。本展では、市民から寄贈された戦争関係資料を展示し、戦時中の半田の様子や当時の暮らしについて紹介する。その他の展示としては、「小栗風葉生誕150年記念展」などを開催する。

（新美委員）

小中学校の体育館空調機器について、今年度に横川小学校体育館に設置したものと同一形式のものを設置するということか。

（学校教育課）

そのつもりで考えている。

（桂委員）

小中学校の特別教室空調機器は、令和7年度で事業終了ということは、すべての特別教室に設置完了するのか。

（学校教育課長）

事業としては令和7年度で終了するが、すべての教室に設置できるわけではない。使用頻度の高い教室を学校に選んでもらって、優先順位の高い教室から設置している。

	(桂委員) どの教室に設置され、どの教室は設置されないのか。 (学校教育課長) 各学校の希望によるため、一律にどの教室ということとは言えない。 (堀崎委員) 地域スポーツ・文化芸術活動支援事業は、令和9年度は計上されていないが、講師代や事務局運営費など必要ではないか。 (スポーツ課長) 令和6, 7, 8年の3か年で、団体が月謝や会費を徴収したりして自走ができるよう支援するものであるため、令和8年度限りとしている。 (桂委員) こどもの居場所文化・スポーツ事業は、令和7年度は4校で試験的に実施するとのことだが、今後はどのように実施していく予定か。例えば、毎年学校を変えて4校ずつ実施するのか、増やしていくのか。 (生涯学習課長) まず、横川小学校と亀崎小学校は、同様の趣旨である子ども育成課の児童の居場所事業が始まるので除く。今後は子ども育成課との調整次第だが、増やしていきたい。
2) 寄附、後援願等	(学校教育課長) ・寄附 1件 ・共催 1件 ・後援名義使用許可 28件 (桂委員) ネタワンGP東海大会についてももう少し詳しく知りたい。 (学校教育課長) 8名が授業の発表をして、この中から見学者及び参加者による投票が行われる。票数の多かった方、つまり、もっともよい授業を行った方を表彰するもの。先生たちの授業力向上のための取組である。 (指導主事) 自主勉強会の全国組織がある。与えられたテーマで15分程度の授業をする。誰がよかったか投票により勝ち抜いた人が東海大会、全国大会に行くことができる。授業力向上のための取組。誰でも見に行ける。 去年は板山小の鈴木理一郎教諭が勝ち抜いて全国大会に出場した。

	(桂委員) オモロー授業発表会について、5月に武豊で開催されていたときに見に行った。現役の先生、退職した先生が実践を報告するもので、すごくおもしろく、会場全体に熱気があって素敵だった。参加者は子どもや保護者が多かったが、PRをもっとしていきたいとのことだったので、この後援により周知が広がるといい。保護者が中心になって運営されていると聞き、印象的だった。
3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	(指導主事) 令和6年9月26日～令和6年10月29日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：2件 10月17日(木) 1件 10月28日(月) 1件 問題行動(被害)等：6件 9月30日(月) 1件 10月15日(火) 1件 10月17日(木) 1件 10月24日(木) 2件 10月25日(金) 1件 交通事故以外の事故：3件 10月21日(月) 1件 10月24日(木) 1件 10月25日(金) 1件 学校等被害等：5件 10月17日(木) 1件 10月20日(日) 2件 10月24日(木) 1件 10月26日(土) 1件 不審者情報：5件 9月26日(木) 1件 9月27日(金) 1件 10月15日(火) 1件 10月22日(火) 1件 10月25日(金) 1件
4) はんだシティマラソン2024のエントリー数	(スポーツ課長) 11月3日(日)に開催するはんだシティマラソン2024の申込者数に関するもの。 大きく分類して、6部門からの構成になっている。 一般の10kmは、男女合わせて263人、中学生3kmは73人、小学生2kmは175人、ジョギング2kmは102人、リレーマラソン20kmは50組332人、午後のウォーキングの2kmは500人。午前中のマラソン、リレーで945人、午後のウォーキング500

	人、合計１，４４５人の方がエントリーいただいている。
５）各種事業 ①畳でコンサート ②まちなかでアート「HANDA STREET」関連イベント ③ロビーコンサート（半田少年少女合唱団） ④ロビーコンサート（半田市医師会健康管理センター） ⑤半田市民管弦楽団 第３８回定期演奏会 ⑥令和７年半田市二十歳の集い	（生涯学習課長） ①０歳の赤ちゃんや親子連れを対象としたもので、毎回好評いただいている。今回も３部制で各５０名定員としているが、既にすべて満員になっている。 ②おおまた公園にて開催される HANDA STREET TERRACE の中で、生涯学習課としてサックス侍さんを招いて演奏していただく。とても気さくな方で、SNSに動画もアップされている。 ③瀧上工業雁宿ホールの市民ロビーで開催する。部活動改革による土日の活動の選択肢の一つとして団員募集のPRも兼ねている。コンサート後に、団の楽しさや団に入ってよかったことなどを話したり、質疑応答の時間もあるよう。 ④半田市医師会から、昨年度のコンサートが好評だったから今年もどうかと声をかけていただき、半田市医師会健康管理センターで開催するもの。ヴァイオリンとピアノの二重奏。 ⑤ネーミングライツ料と寄附金を原資に開催するもの。国際的なピアニストであり、医師との二刀流で活躍されている沢田蒼悟氏をゲストにお招きする。ラフマニノフ交響曲第２番ピアノ協奏曲第３番を弾いていただくが、とても長い曲とのこと。 ⑥二十歳の集いを今年度も実行委員会形式で開催する。市内各中学校から１２名の委員が集まってくれている。晴れの舞台であり、トラブル等なく開催できるといい。
⑦ミニテニス教室の開催	（スポーツ課長） ⑦令和６年１２月１日から令和７年２月２３日において、一部の日曜日を除いた毎週日曜日にさくら小学校体育館でミニテニス教室を開催する。講師は半田市スポーツ推進委員の皆さまで、初心者でも気軽に参加できる教室となっている。 市報の１１月号にも案内を掲載し、１１月５日から１１月２２日まで定員２０名とした参加者を募集する。
⑧ 亀崎図書館「としょかんまつり」 ⑨ 亀崎図書館「あま〜いお話とクラフトボックス作り」	（図書館長） ⑧ ７月に本館でも行っているが、今回は亀崎図書館を会場として開催するもの。日頃から図書館で活動いただいているボランティアの皆さんとともに図書館を盛り上げていきたいと思っている。内容は、読み聞かせ等々いろんな催しがある。 ⑨ こちらも亀崎図書館で開催するもので、おはなし会と物作りの合わせたような取り組みになっている。 一点、追加で説明させていただく。 現在、図書館本館において亀崎出身の絵本作家「間瀬なおかた」さんの絵本原画展を、１１月１０日まで開催している。なお、１１月２日に

	は、ご本人を招いた「おはなし会&サイン会」もある。
⑩「やさしい古文書講座」 ⑪博物館講座「てんこく」 ⑫「旧中埜家住宅体験型写真館」 ⑬「移動美術館 2024 本当の本物の現実」	(博物館長) ⑩毎年1月下旬に、博物館専門員が講師となり古文書講座を開催しているが、参加者から「もう少し初心者向けの内容の講座も開催してほしい」との要望もあり、昨年度に引き続き「やさしい古文書講座」を開催するもの。明治時代に書かれたくずし字が少ない簡単なテキストを使用するので、初心者の方も参加しやすい。 ⑪「てんこく」は毎年行っている講座で、日展の入選作家 田中修文(たなか しゅうぶん)先生のお弟子さんであり、日本篆刻家協会評議員でもある吉原愛璃(よしはら あいり)氏を講師に、はんこを製作する。今年は来年の干支「巳」を石に彫る。 ⑫旧中埜家住宅への関心と親しみを深めるとともに、オフシーズンの有効活用として、昨年度に引き続き二度目の開催となる。旧中埜家住宅客室での本格的な記念写真撮影や昭和期のカメラ・フィルムの体感、デジタルカメラ等を使ったセルフ撮影体験などが行える。今年も運営補助として、半田商業高校の生徒さんにスタッフとして関わっていただく。 ⑬12月7日から令和7年1月5日までの期間、「愛知県美術館 移動美術館2024『本当の本物の現実』」を開催する。愛知県美術館は所蔵するコレクションを「移動美術館」として、毎年県内各地の博物館・美術館などで展示しており、今回の「移動美術館」は半田市では初めての開催となる。 博物館の展示室で、美術や社会の教科書に掲載されている「黒田清輝(くろだ せいき)」、「高橋由一(たかはし ゆいち)」の作品をはじめ、絵画や立体作品など、国内外のさまざまな作品を鑑賞していただける。 また、期間中は、愛知県美術館の館長による講演会や、愛知県美術館の学芸員によるギャラリートークを開催する。
⑭企画展「新美南吉記念館開館30年の歩み」 ⑮ガリ版体験 ⑯童話の森の文化祭	(新美南吉記念館長) ⑭平成6年に開館した新美南吉記念館は今年30周年を迎えた。これを記念し、30年間の取り組みとできごとをパネルと資料、映像で振り返るもの。会期は1月13日まで。 ⑮多くの世代には縁遠くなってしまったガリ版刷りだが、同人誌や詩集、テスト用紙を作るために南吉もよく使っていた印刷道具である。体験では、好きな図案で原紙をつくり、葉書に印刷をしていただく。現在、予約受付中。 ⑯11月2日からの3連休で開催する。新美南吉記念館の童話の森は「ごんぎつね」の舞台にもなった場所で、市街地近くで里山の自然に触れられる場所として市民に親しまれている。かつては鬱蒼としていたこの森を整備しようと、NPOごんのふるさとネットワークの呼びかけで、毎月1回有志が集まって活動している。こうして綺麗になった森を多くの人に楽しんでもらおうとネットワーク主催で行っているのが「童話の森の文化祭」である。地元で活躍するアーティストたちが森の中に

	作品を展示し、ワークショップや子どもミュージカル、南吉の詩の読書会などを開く。
教育委員からの 意 見 提 言 等 (1)	(桂委員) 保健センターでやっている、あかちゃんとしょかんボランティア「あっぱっぱ」の活動を見てきた。3ヶ月健診で、赤ちゃんといっしょに保健センターを訪れた保護者に、実演を交えながら家庭での読み聞かせの大切さや、絵本の楽しみ方を伝えるもの。一人ひとりに直接声かけしていて、素敵な時間だと思った。この頃の赤ちゃんを連れて出かけることは大変だったように思うが、子育てを応援してくれる方と出会うことができ、赤ちゃんの図書カードを作れ、おすすめの絵本を借りられる。とてもいい仕組みができていると感じた。 子どもたちについて多くの課題があることを知り、家庭教育の重要性を感じるが、何ができるかとなると難しい。この活動は、赤ちゃんの頃から、親子の大切な時間を育む場を作っていて、かつ、市民・ボランティア・行政が連携して実施できている。今後もこの活動が続き、関係する方も広がり、繋がり、深まっていくといい。 (図書館長) ご紹介いただいた事業は、全国的には、生まれたお子さんに絵本をプレゼントするブックスタートという取組みがNPO法人を中心に展開されているもの。 半田市では、本をプレゼントするだけでなく、その場で読み聞かせをして親子のふれあいを体験してもらおうという思いで、子育て関係の部署、図書館司書、熱意のあるあっぱっぱさんで実施している。なかなか時間のない親御さんなど素通りで帰られる方もいるが、声をかけてチラシを配布するなどして、できるだけ図書館に繋がっていけるようボランティア団体と一緒にがんばっていききたい。
教育委員からの 意 見 提 言 等 (2)	(堀崎委員) ハッピーウィークに関連して、昨年度は、ある学校のごんぎつねの授業がとてもよかったと紹介したが、今年は物足りなかった。深みがないと感じた。いい授業を共有ドライブなどで共有し、広めてほしい。見せ方の工夫などは必要だが、共有財産にしていってほしい。 (主任指導主事) 板書は共有しているが、これに加えて、作成していれば指導案も載せるよう各学校に依頼している。より良い共有の方法は模索していく。 (新美委員) ハッピーウィークは昨年度が1年目で、今年は2年目。昨年度は、まだ先生方にも浸透していないということは感じていたが、ホップ・ステップ・ジャンプしていけばいいと思っていた。ただ、今の話を聞くと、停滞しているということか。感覚的にはどう捉えているか。

	(主任指導主事) 決して停滞している、盛り下がっているという印象はないが、確かに、幸せ教育はどんなことやればいいのかと悩んでいる先生もいる。これに応えるため、11月に自主勉強会を開催し、幸せになるための教育を実現する会議の委員さんに来ていただき、フリートークの場を設けて悩みを少しでも解消してもらえればと思っている。 昨年度と比較できる数値がないので、どれだけ良くなったか、あるいは停滞しているのか客観的に捉えることは難しいが、一生懸命考えて指導をしているという印象をもった授業も多い。堀崎委員からご意見いただいたように、全体的な質を上げるため、より良い授業を共有していきたい。 (新美委員) ハッピーウィークの期間だけでなく、普段の授業や生活の場面から「幸せ」の意識がついていくような言葉かけを工夫して実践してほしい。子どもたちの頭の隅にずっと「幸せ」が残っていくような形が理想だと思う。 (久米委員) 昨年度、これを導入するときに先生方がかなり大変ではないかと思っていたが、今回の報告のように躓いている先生も多いのではないかな。 (主任指導主事) 確かに幸せ教育は、ほかのいろいろな教育、例えば安全教育や環境教育などと違って決まった指導内容がないため、難しいと捉える先生が多いのも事実だが、意識してチャレンジしていこうという姿勢が大事だと考えている。自身で考えて、少しずつ深めていくと、子どもたちも考えられるようになる。そうやってチャレンジする姿勢、活動をフォローしていきたい。
教育委員からの 意見提言等 (3)	(堀崎委員) 今年度から導入したAIドリルの「Qubena (キュビナ)」について。特別支援学級で取り入れたいが、なかなか思うようにいかないこともあるので、メーカー担当者呼んで講習会をやってはどうか。 (指導主事) キュビナは、導入後のフォローを丁寧にやってくれるというのも、これに決めた理由の一つである。全教職員に講習を受けていただきたく学校に声かけはしているが、時間を捻出するのが難しいのか手が挙がっていない。 キュビナ担当者と月1回打合せも続けており、こちらでも各学校の活用状況は把握できるので、活用が少ない学校には声かけもしている。学校ごとでの講習もいつでもできると案内しているが、こういった案内が

	届いていない現場の先生もいることがわかったので、改めて案内したい。 (堀崎委員) 特別支援学級で有効活用できると考えるので、ぜひお願いしたい。
次回開催等	(事務局) 11月定例会教育委員会 日時：11月27日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 会議室401 (教育長) 10月定例会教育委員会を終了する。

〈 閉会 12時00分 〉